

喜界町



議会だより

191号

令和5年4月30日発行



写真：新一年生入学おめでとう！（早町小）



主	令和5年度 一般会計当初予算	2
な	条例・同意等案件報告	5
内	一般質問に4名が登壇	6
容	読者の声・議会のうごき・編集後記	10



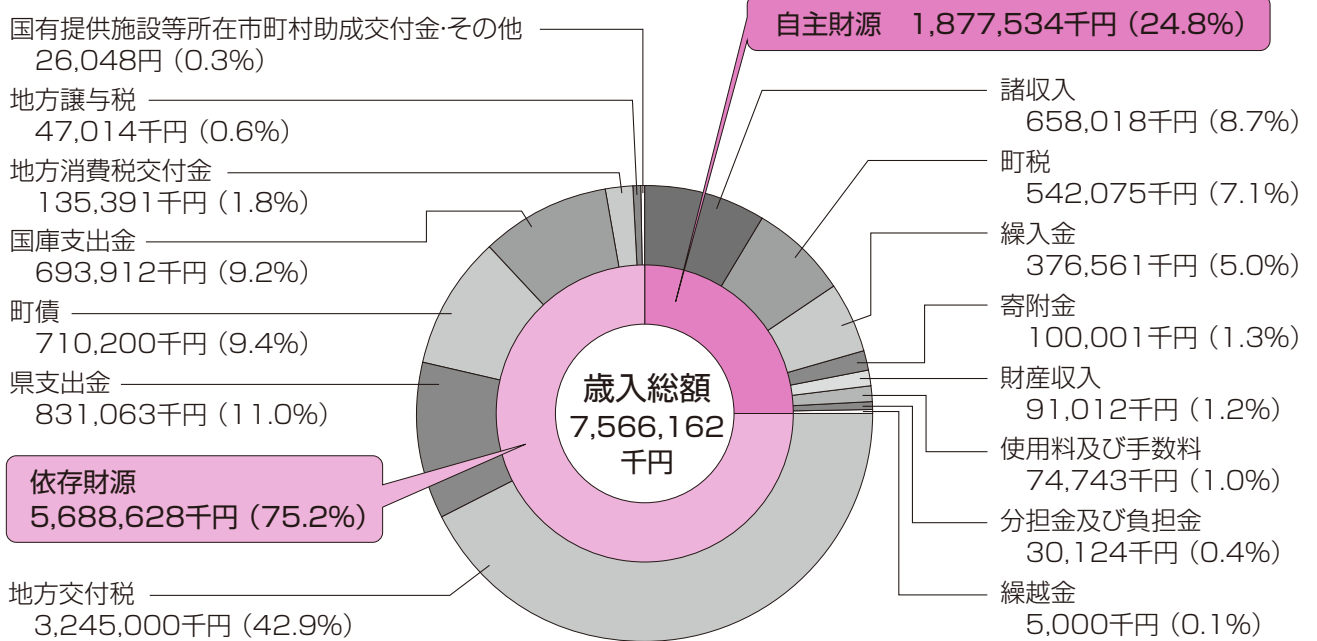
発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会
 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地
 TEL:0997(65)1115・FAX兼用

令和5年第1回定例会は、3月6日開会し3月17日まで12日間の会期で開かれた。初日は報告2件があり、議案7件を可決し諮問2件を答申。議案6件を予算審査特別委員会に付託、議案10件を各常任委員会に付託した。3月13日は一般質問があり4名が登壇。3月17日の最終本会議では、予算審査特別委員会、各常任委員会の委員長から報告があり、議案17件を可決、追加議案(工事請負契約)1件は否決、発議1件を可決した。

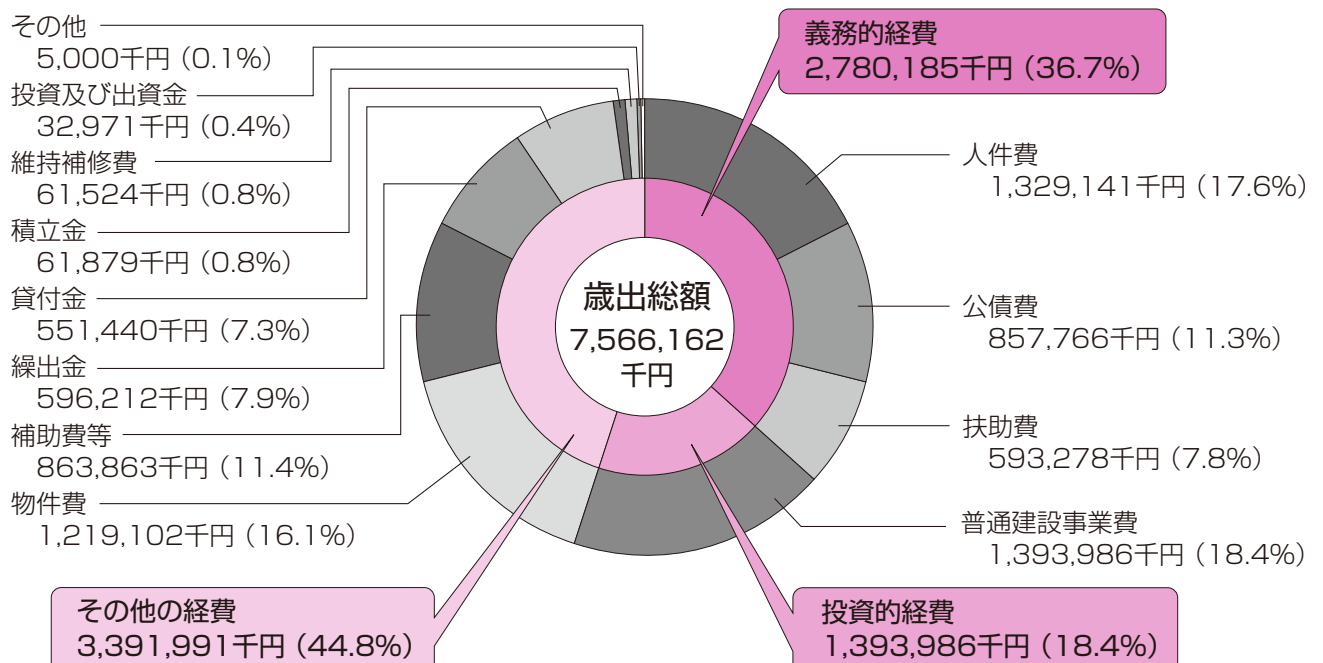
子育て支援強化!! しまの未来特別応援給付金新設

令和5年度一般会計当初予算の主なもの

◆ 歳入項目別決算額



◆ 歳出項目別決算額



◆◆◆ 令和5年度一般会計当初予算の主なもの ◆◆◆

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	一般管理費	旧坂嶺小学校トイレの改修工事(町単独事業)	2,000千円
	財産管理費	公民館4か所の補修費 (赤連、中里、前金久、上嘉鉄東)	12,500千円
	電算管理費	新たにパソコン(デスクトップ100台、ノート10台)やプリンター等を購入	15,000千円
企画観光課	自然管理保護費	荒木遊歩道の施設改修工事で令和6年度まで実施予定 (国県補助事業)	31,950千円
	移住促進事業費	空き家改修補助金(7軒追加)	7,000千円
	サンゴ留学事業費	新しい寮の設計料(男女別の寮を計画中)	4,000千円
	コワーキング施設等 運営事業費	観光ビジネス拠点KIKAI BASE(旧荒木小)の運営経 費。光熱費、通信費、管理運営委託費	1,838千円
	エコツーリズム推進事業費	昨年度までは広域事務組合で実施していた事業を今 年度より島単位で実施。ガイド初期段階育成研修実施 の為の経費	760千円
	かごしま移住就業・ 企業支援事業費	県主催事業。東京圏からの移住者向け移住及び就業 支援金。 登録された中小企業の人手不足解消を目指す	2,000千円
町民税務課	シルバー人材センター 運営補助金	シルバー人材センターの安定的な運営のための財政 支援等	4,200千円
まちづくり課	地方改善施設整備事業	厚生労働省の補助金を活用し、未舗装・未整備の道路 や排水路等を改善し住民の安全と環境整備を図る (小野津県道・湾町道を整備)	32,000千円
	道路維持費	集落要望等に対応する各種整備修繕費(維持補修費)	10,000千円
	港湾整備費	浦原漁港の泊地・航路浚渫工事(国県補助事業)	100,000千円
	地域住宅交付金事業費	実施計画委託料3,300千円。工事請負費(仮称新コー ラル建設及び駐車場)110,700千円。造成工事 30,000千円	144,000千円
農業振興課	【新規】 農業水路等長寿命化 防災減災事業費	ため池廃止事業。島中・川嶺地区委託料10,000千円、 重機借上料1,000千円、一部湧水が有る志戸桶の工 事請負費28,000千円は湧水を逃がす工事、工事に 係る土地購入費4,000千円等	43,083千円
	【新規】 地域計画推進支援事業費	高齢化や人口減少により農業者の減少や耕作放棄地 が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなること が懸念される為、解消に向け地域計画策定の費用	650千円

◆ 令和5年度一般会計当初予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
農業振興課	鳥獣防止対策事業費	有害鳥獣買上代(鹿の駆除費1頭15千円)100頭分で1,500千円。 カラス施設管理委託料1000羽分1,500千円。 鹿捕獲の通報システム費用990千円等	4,410千円
	農業委員会事務局費	役務費通信運搬費(タブレット16台分)	796千円
	園芸振興費	委託料(町単独事業)ゴマダラカミキリ虫駆除	51,000千円
	特殊病害虫特別防除事業費	委託料(国県補助事業)アリモドキゾウ虫駆除	43,359千円
	農地費	たい肥センター建設に伴う造成費(町単独事業)	25,000千円
	負担金、補助及び交付金	農地防災減災事業負担金(坂嶺水路)	12,000千円
保健福祉課	医師旅費助成金	安定的な医師派遣を図るため、徳洲会病院の医師旅費を助成する	4,000千円
	介護人材育成補助金	介護初任者研修の受講料、また町長が認める介護研修の受講料を助成する。半額または上限3万円	390千円
	こども医療費助成金	全世帯の乳児から18歳(高校生)までの医療費を全額助成する。修学等で島外に住所があるこどもも医療助成の対象とする	9,600千円
	出産祝金	1子10万円、2子20万円、3子30万円、4子以降40万円を祝金として給付する。 他、1歳未満に月5千円のおむつ購入助成を行う	10,000千円
	【新規】 しまの未来特別応援給付金	子育て世帯への経済負担の軽減を図るため、1歳・2歳児へ月額5千円の給付を行う	4,800千円
教育委員会	事務局費	生徒の英語検定等検定代負担分2,000千円。 スクールバス運行委託料44,668千円。 高校入学祝い金60人分1,200千円。 町奨学金貸付金1,440千円等	126,566千円
	入学祝金	高校入学生60人に入学祝金を支給 1人に2万円	1,200千円
	入学祝金	小学校入学生51人に入学祝金を支給 1人に2万円	1,020千円
	入学祝金	中学校入学生71人に入学祝金を支給 1人に2万円	1,420千円
	体育館外壁の補修	あゆみ幼稚園体育館の正面玄関の外壁の補修工事	3,740千円
	図書購入費	購入冊数は1500冊予定	2,800千円

◎ 条例・同意等案件報告

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第9号	町長等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例について 平成16年度から実施している町長・副町長・教育長の給料を財政面を考慮し、特例的に10%減額するため期間を「令和6年3月」に改める	10	0	可決
議案第10号	喜界町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について 法律の一部改正に伴い必要な事項を定めるため、既存の喜界町個人情報保護条例を廃止し、新たに本条例を制定するもので、取り扱い手数料については、これまでの条例と同様	10	0	可決
議案第11号	喜界町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について これも法律の一部改正に伴い、個人情報の適正な取り扱いを確保するため専門的な知見に基づく意見を聞くことが特に必要であると認めるときには、審査会に諮問することができる規定、組織や委員、審査の手続き等について必要な事項を規定し、審査会の設置や必要な事項を定める	10	0	可決
議案第12号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について 坂嶺地区配水管移設工事の追加を行うため、これは辺地に係る公共的施設の総合整備であるため、財政上の特別措置等に関する法律第3条8項において準用する同条第5項の規定により、総務大臣へ喜界町辺地に係る総合整備変更計画を提出する	10	0	可決
議案第13号	喜界町過疎地域産業振興促進条例の制定について これまで固定資産税の課税免除などの税制特例措置は、過疎法、離島振興法、奄振法のそれぞれで規定され、適用していたが、政府税制改正大綱において整理が行われ、令和5年度から過疎法に基づく特例措置を適用することとなり、それに伴い喜界町過疎地域産業振興促進条例を制定し、制度改正への対応を図る	10	0	可決
議案第14号	喜界町サンゴ留学による寮設置条例の一部を改正する条例について 管理運営関係に関する条項を追加するため、その中で第9条寮費は月額6万円と定める	10	0	可決
議案第15号	喜界町お試し移住用施設設置及び管理に関する条例の制定について 本町へ移住等を考えられている方へ、実際に一定期間地域の暮らしを体験できる施設を、島中集落にある旧教員住宅を再活用し整備した。これに伴い条例を制定する	10	0	可決
議案第16号	喜界町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について ①ウオーキングマシンを小型家電として取り扱うこととし削除する。 ②DIYの人気等で持ち込みが増加し処理費用が高額な石膏ボードとサイディングボードを1 ^キ 150円(但し事業活動に伴って生じた廃棄物は除く)を追加する	10	0	可決
議案第17号	喜界町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 円滑な運営を確保する観点から被保険者の保険料負担に一定の制限を設けるもので、法改正に伴い、国民健康保険の後期高齢者支援金等課税限度額が20万円から22万円に、減額対象となる所得の算定基準額が5割軽減世帯で28万5千円から29万円に引き上げる	10	0	可決
議案第18号	喜界町国民健康保険条例の一部を改正する条例について 喜界町国民健康保険条例は、出産育児一時金を現行の42万円から50万円に引き上げる。条例では40万8千円から48万8千円に改める。産科医療保障制度に加入している病院で出産すると1万2千円が加算され50万になる	10	0	可決
議案第25号 (追加議案)	喜界町一般廃棄物最終処分場建設工事の工事請負契約の締結について	4	6	否決

※欠席1名

※議長職は特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

一般質問

町政の ここが聞きたい

第1回定例会で4名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。
質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
よねだ のぶや
米田 信也 議員

島では出産できないのか

質問 「知事と語ろう会」で出た話の中で、島で子供を生みたいという要望がある。

まず、1か月前に出産のために島を出なければならぬことへのストレスが大きいこと。さらには、第1子のときは良いが、第2子、第3子のときには、子供を連れていけない方に関しては、父親の負担やおじいちゃん、おばあちゃん等家族の負担が大きい事。
そして、何よりも残された子供たちが受けるストレスが、大きいと言われている。約20数年前までは、町内で出産できていた。この事をふまえて、町内での出産の可能性について、実現性があるのか伺う。

答弁

保健福祉課長
本町内でも以前は医療機関での出産が可能でしたが、産科、小児科医の確保や小児科の常設、緊急時の対応が困難である等の理由により、現在は休止している。
妊婦の身体的、精神的、また、

経済的負担や家族の負担等の観点からも島内で出産ができるに越したことはないが、先ほどの諸事情を考慮すると、現時点では町内での出産の体制整備は厳しい。

質問

喜界町の抱えている問題のひとつが、人口減少である。その打開策として町内での出産があるのではないかと。難しい理由は多くあるが、一つ一つクリアして実現に向けて検討する事案である。この事を踏まえ、2年後に新築移転される喜界徳洲会病院と検討できる可能性について伺う。

答弁

保健福祉課長
新築される徳洲会病院での産婦人科、小児科の常設は前答弁の理由から、現時点では困難である。徳洲会病院へ要望等はしているが、難しいこの回答が返ってきている。
町としては、今後も妊産婦検診費や出産時妊産婦検診旅費助成等で負担を軽減し、安心して出産できるように支援していく。

島民の生命線 航路の確保

質問

約3年後に耐久年数を迎えるフェリーあまみの代替船について、まだ検討中であるとのことだが町民の足であり、物資輸送の要でもあるフェリーについて、新造船を造るのか、または現在沖繩航路として運用し

ているフェリーを活用するのか伺う。

答弁

町長
まず、2隻体制を維持することが町民の生活を守ることに直結するので、国や県、船会社など関係機関と協議を行い、新船の建造に向けて取り組んでいく。

そのためには引き続き基金の積立てや有効な運用を行い、新船の建造に向けて準備を行っていく。

これは本当に強固な要望が必要になると思われるので、議員も一緒になつて、協力してほしい。

質問

近年、フェリーに欠航が増えたことを踏まえて、臨時便を日曜日や月曜日に在来フェリーを使用して対応しているが、沖繩航路のフェリーを臨時的に、もしくは試験的に寄港できるように検討できないか伺う。

答弁

企画観光課長
まず、沖繩航路の臨時的寄港については、喜界島に寄港することにより、他の寄港地に及ぼす影響を考慮すると難しいと考える。



フェリーあまみ



質問する
よしおか りいちろう
良岡 理一郎 議員

国・県に合わせ新型コロナウイルス対策本部も廃止の方針

質問

① コロナ感染者数及び特徴、今後の対策等について。
② ワクチン接種の実態と今後の計画。

③ 5月8日から5類へ引き下げられる。医療費の負担はどう変わるのか。受診抑制が懸念される。その対策は検討されているか。

答弁 保健福祉課長

① 感染確認数は12月以降、直近までで486名。無料PCR検査は96名、陽性確認は7名。

② ワクチン接種実績は対象者が6,701名。4回目接種済み3,593名、5回目接種済者は1,616名である。60歳以上の高齢者の接種率が高い傾向にある。

今後、国の動向を注視しながら接種体制確保に取り組み。

③ 5類への引き下げに伴い、政府は受診控えを避けるための施策を予定しており、町としては見直しの内容等について、特に急激な自己負

担はないということを周知していきたい。

日米共同訓練は占領された喜界島の奪還訓練

質問

① 喜界島では第1空挺団のパラシュート降下訓練が行われている。その実態を伺う。

② 製糖繁忙期の訓練である。町民への説明、被害発生時の責任は明確にしていたのか。

③ 今後も自衛隊と海兵隊等の共同訓練の活発化も想定される。町としての基本認識を伺う。

答弁 総務課長・町長

① 訓練日時は3月3日(金)、参加人数は自衛隊第1空挺団が102名、地上の統制員等が47名、計149名。米軍からも陸上の連絡のため米兵がいた模様。

② 町民への説明、補償の問題等については説明も行った。保障等についてはそのような事案は起きなかった。

③ 今後については、事前に双方で十分な協議を行っていききたい。自治体は国の施策に応じた対策をしなければならぬことも理解いただきたい。

マイナカードの申請率68.80% 町民の判断を尊重

質問

① マイナカードの申請、交付の実

態。

② 医療機関のカードリーダーの導入状況。

③ 保険証の有効期間を伺う。

答弁 町民税務課長・保健福祉課長

① マイナカード申請数は4,642名、申請率68.80%。交付枚数は3,824枚、交付率56.68%で、いずれも鹿児島県、国より低い。

② カードリーダーは診療所が設置済、喜界徳洲会病院は3月中旬に整備完了予定、歯科3医院は1医院は導入済、1医院はシステム連携がこれから、もう1医院は準備中。9月末が実質的なリミット。

③ 現行の健康保険証は廃止後も1年間は有効。マイナカードを、取得していない、保険証登録をしていない方等は有効期限1年を限度とする資格確認書を無償交付する。

ヤングケアラー県調査 家族の世話をする小6年生は9.1%

質問

① アンケートの対象者数。

② 回答の特徴。

③ 今後の対策を伺う。

答弁 教育長・保健福祉課長

① 喜界小学校6年生が全員の53人、喜界中学校が全校生徒の167人、喜界高校が全校生徒148人合計368人を対象に実施した。
② 全県の特徴は、「世話をしている

家族がいる」と回答したのは小学6年生9.1%、中学生が5.8%、高校生が3.8%である。また、ヤングケアラーの認知度は、約5割が「聞いたことがない」と回答。

③ 今後は周知啓発による認知度の向上に加え教育相談、悩み相談等必要に応じた対応を講じていく。また、福祉、介護、医療、教育等の関係職員の研修会等を通じて、多機関、多職種による円滑な連携を図っていく。

今年度野生シカの駆除67頭 焼却処分は14頭

質問

① 今年度の直近までのシカの駆除数。焼却処分の執行状況、その効果は。

② 今の駆除テンポでは増加傾向は止められない。対策を伺う。

答弁 農業振興課長

① 今年度は先週末(3/11)で67頭、焼却処分は1月以降現在までで14頭。フリーセンターでの焼却は、作業量が軽減されている。

② 駆除費を1頭当たり15,000円に引き上げ、昨年12月以降、捕獲数も劇的に増えてきている。今後も研修でスキルアップを図り、捕獲後の通報システムの向上を図り対策をとっていく。



質問する
どき かずき
土岐 和貴 議員

過疎化・少子高齢化は 深刻な問題

質問

本町において、人口の減少に歯止めがかからず、過疎化や少子高齢化が依然として進んでおり、担い手不足や集落組織の弱体化が見られる。

- ① 現在は高齢者比率も40%を超えており典型的な高齢化社会である。令和22年には5,175人、令和42年には3,716人まで減少すると推測されている。この危機的状況をもとにお考えか。
- ② 人口の自然減と社会減の対策を同時並行して進めるとあるが、具体的にどのような取り組みか。
- ③ 少子化やひとり親世帯が増加、働きながら子を育てていく上で、母親に負担がかかっている。年々出産数も減少していることを踏まえて、主な取り組み支援の見直しが必要ではないか。
- ④ 今後の課題解決に向けて子育て世代の意見や考え、悩みなどをしっかり汲み取り、次につなげていく必要があるのではないか。

答弁 町長

- ① 人口構造の若返りに重点を置き、社会減少への取組を図りつつ、自然減少への取組も同時並行的に進めていくことで、人口規模の確保が必要と考えている。
- ② 企業誘致や働く場の創出を図る。担い手の創出を農業分野においても図っていく。
- ③ 令和3年度開始の出産祝い金や乳児紙おむつ券の支給。令和4年度からは学校給食の無償化、子供医療費を一部助成から全額助成に拡大している。今後とも協議を行い見直しは5年後に予定している。
- ④ 令和5年度に子育て世帯を対象にアンケート調査を実施予定である。

マスク着用は個人の判断に決定

質問

政府は令和5年3月13日からマスク着用は個人の判断に委ねる方針を決定。

- ① 本町はどのように周知徹底していくのか。
- ② 教育現場において本町での取り組みを伺う。
- ③ 3年間のマスク生活で「外したい」「外したくない」双方の意見が出てくると考えられる。今後、双方が安心して生活していくためにはケアや情報共有が必須になる。町全体の取り組みや教育現場での対応策を伺う。

答弁 教育長・保健福祉課長

- ① 町のホームページ、防災行政無線にて周知を行っている。広報紙でも掲載する予定。
- ② 本町の各学校では基本的には個人の判断を尊重することとし、児童生徒や教職員には一律マスク着用を求めない方針だが、不安や消極的な声もあることから着用することでも差し支えないこととしている。
- ③ 周囲の方に感染を広げないため医療機関、高齢者施設を訪問する時はマスクの着用を推奨している。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、周知を継続して行っていく。教育現場では差別や偏見等につながらないよう、必要に応じた指導や呼びかけを行っていく。

猫は野生動物ではない

質問

社会問題になっている野良猫も年々増加傾向である。TNRもあくまで野良猫の繁殖抑制かつ、苦情対策(マーキング・ケンカの声・糞尿・増えすぎた猫による交通事故)であり、ベストな対策ではない。

- ① 地域猫制度「地域の方々同意や協力、あるいは行政の指導の下で野良猫を管理すること」を今後は対応策の一つとして考える必要があるのではないか。
- ② 近年では一部の独居老人や町民の餌やりで、増やしてしまう例も少なくない。今後は行政の介入、特に



答弁 町民税務課長

- ① 令和5年度は町の事業として地域猫活動の予算を計上している。町と県、各団体と連携しながら、活動を進めていく。
- ② 保健福祉課とも情報共有をしている。現場への同行、対策の協議等を含めて、お互い連携していきたいと考えている。
- ③ 今後とも区長や民生委員、ケアマネ等、福祉に関わる方々と連携していく。広報きかいで「適正な飼養を」ということで呼びかけも継続していく。



質問する
いくしま つねのり
生島 常範 議員

男女共同参画推進について

「女性議員ゼロ解消は各種団体や議会が率先して取り組みを！」

質問

- ① 各種委員会での女性登用率を30%以上と目標設定しているが現在何%か。目標を50%以上にしているかどうか。
- ② 「充て職」で特定の代表者が複数の委員を兼任するのではなく、広く組織内外から入選できないか。
- ③ 群島内12市町村の中で女性議員ゼロは喜界町を含め6町村。昨年、知名町は行政主催で「女性議会」を開催した。喜界町も開催できないか。

答弁 町長・企画観光課長

- ① 現状は14.58%なので先ずは実現可能な30%以上を目指したい。
- ② 現在も互選や委任状によつて参加をしている委員会もある。各組織においては代表者以外も参加できるように広く間口を広げる考えは持っている。
- ③ 知名町は議員と地女連の語る会

において「女性議員がない」事が話題になり、女性議会を実施したと聞いている。今年度本町で開催される男女共同参画基礎講座や各種検討会を通して意識向上を図りたい。また、議会側が率先して議員の質の向上や議会改革のため各種団体を巻き込んで取り組んで頂きたい。

新造船ドック時期については船会社等と協議

質問

- ① 以前悪天候時は谷山港沖で天候回復待ち又は古仁屋港避泊等対応をしていたが、最近では欠航の判断が早いとの声がある。フェリーきかいは長さが10mも短くなった。そのことも欠航判断の早い理由ではないか。
- ② 鹿児島〜沖縄航路は4隻体制で欠航や条件付きを除き毎日入出港がある。喜界航路は海が荒れる冬場に毎年ドックが有るため農家や島外通院の方々は困っている。ドックは就航口で決まるので新造船計画の際には船会社と協議できないか。

答弁 町長・企画観光課長

- ① 運航判断は安全運航を第一に船会社の判断に任せるしかない。冬場はしけの為欠航が多いが、今年1月〜2月も臨時便運航をしてくれた。今後もそついつ対応をお願いしたい。
- ② ドック入りは1年前から予約が

必要で冬場や梅雨時期を避けたいのが本音。船会社やドックの会社とも変更が可能か協議したい。

国立公園・百之台に360度見渡せる展望所を

質問

- ① 令和2年環境省作成「奄美群島国立公園計画書」に本町の志戸桶海岸、百之台公園、荒木海岸、中西公園がある。今後の計画を伺う。
- ② 隆起段丘の島は喜界島を含め世界で3か所のみ。島の成り立ちや地形・地質は壮大な地球の営みの結果で学術的価値が高い。百之台に360度見渡せる展望所を整備できないか。

答弁 企画観光課長

- ① 今年3月9日に環境省と再検討のための点検を実施した。変更については2〜3年要するので詳細等決定後に広報誌等でお知らせしたい。
- ② 既存の展望所の有効活用を検討したい。

答弁 町長

- ② 現在展望所はあるので既存の施設の有効活用と島内全域の公園修繕等を検討したい。以前同じ夢があり調査したが、困難と判断した。今はドローンも有るので個人の興味として調査してみたい。

危機的状況にある言語・方言サミット開催について

質問

- ① 知名町で開催したサミットには町民の方が湾言葉で発表した。各地の取り組みを知りどう思ったか。
- ② 群島内のサミット未開催は徳之島と喜界島だけ。本町も開催に向けて検討できないか。
- ③ 各地区で3世代の伝承家族のモデルを公募する調整役を行政が担えないか。

答弁 教育長

- ① 職員の報告によると学校、公民館講座など本町でも実践しているものも有るが、家庭や地域で実践している特徴的なものもあり、これらを精査して今後の取り組みの参考にしたい。
- ② 2年前の質問の際はコロナ禍で早期の誘致は困難と答えたが、令和5年度は与那国島で開催予定。これまで開催した市町村の状況と主催の文化庁、国立国語研究所より必要な手順や方法、条件等収集し開催も視野に総合的に判断したい。
- ③ 知名町では夏休みのラジオ体操の後、地域の高齢者と子ども達が方言で交流しているという事例の紹介があった。危機意識の啓発や気運の醸成は行政が担う部分だが、家庭、地域、団体については自発的、主体的に取り組むことが重要。高齢者と子ども会の交流等については長寿会や子ども会で話題にしていきたい。

私が喜界島に来た理由

あかまつ あやの
赤松 文野（中間・41歳）

星の数が数えられるようになった頃、ゆつくりと目を覚ます。窓を開けて今日の空気を感した後、ピアノを弾く。朝はバッハと決めている。心を無にして何曲か弾いていると、いつの間にか家の外から鳥たちが歌声を重ねてくれる。朝が来たなと感じる瞬間だ。

しばらくすると、ククククク。と賑やかな声が聞こえ始める。喜界島に来てから家族になった二羽の鶏「ナッチョ」と「ピナ」のお目覚めだ。「おはよう！おはよう！」と伝えてくる。ピアノを弾く手をとめ、彼女たちを肩に乗せて海に行く。波音を聴きながら、海と空を観察する。つい時を忘れそうになるが、朝日が海を照らしはじめたら家に戻る合図になっている。

私は二〇二二年までは横浜で暮らしていた。二重窓をしつかりと閉め、ピアノの音が外に漏れないように設計されている楽器可能物件だった。目の前は四車線の道路。三十秒歩けばコンビニがあり、その先には大きなターミナル駅。欲しいものは、大抵揃った。

便利な大都会で、好きな仕事をして暮らしていた。楽しかったし満足もしていた。私は、どうして喜界島に来ることを選択したのだろうか？

夕暮れ時。キッチンの窓から見える空の色を見て、「ナッチョ！ピナ！行くよ！」とまだ途中の仕事を放り投げて海へ走った。

海に到着すると言葉に出来ない景色が広がっている。雲が地球の気持を表現しているかのよう空を舞い、太陽がゆつくりと、でも何の躊躇もなくすくっと奄美大島に隠れていく。その最高の景色をステージに、わたしは二羽の鶏を肩に乗せて鍵盤ハーモニカを吹く。自然と二体となり、今日という一日に素直に感謝の気持ちが生まれる。

ああ、私が喜界島に来た理由は、これだ。「感謝の気持ちを出すため。」
喜界島で暮らし始めて二年八ヶ月。日を追うごとに感謝の気持ちが増えています。ありがとうございます。うふくんでーる。



議会のうごき（4月～5月）

- 4月13日（木）…… 議長・事務局長合同会（奄美市）
- 4月27日（木）…… 県市町村連携会議（Web会議）議長
- 4月27日（木）…… 議会報告会（役場多目的室）
- 5月11日（木）…… 議員大会（知名町）議員全員
- 5月16日（火）…… 議員研修会（鹿児島市）議員全員
- 5月23日（火）…… 各種協議会総会（奄美市）議長

ご案内 次の議会は、
6月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会
皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。
（動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。）

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

編集後記

「和をもつて尊しとなす」、「和して同ぜず」、「和して競え」…大和民族と称される日本人は「和」が好きですが、「和」と「同」はどこが違うのだろうか？と常々考えていたところ、四月十四日、本町荒木出身・碓山隆郎氏指揮によるオーケストラアンサンブル金沢の演奏を聴いて「これだー」と思いました。

四十名の演奏家が弦楽器（4）、木管楽器（5）、金管楽器（2）、打楽器（4）合計15種類の楽器で異なるメロディーを演奏します。毎日の個人練習で音色や表現力を磨き上げ本番の合同演奏で最高の音楽が生まれるのだと思います。これが「和（調和ハーモニー）」で、もし同じ楽器、同じメロディーを四十名で演奏すると「同（皆同じ）」になるのではと思いました。

島外118名、島内24名、計142名の選手が参加した四月十六日開催の「第九回東経130度喜界島マラソン」。実行委員長の指揮の下での支援体制、それに呼応する沿道や集落内での応援に「和」を感じました。そして、この議会だよりも編集委員「和」の作品です。

- 喜界町議会広報委員会
委員長 良岡 理一郎
副委員長 生島 常範
委員 野間 弘也
倉橋 博都
米田 信也
土岐 和貴